

宗像市市民参画等推進審議会議事録(要点筆記)

日 時	令和2年6月18日(木) 13:30～
場 所	宗像市民活動交流館(メイトム宗像) 203会議室
委 員	■ 大賀雄史 ■ 岡田智子 ■ 鎌田隆徳 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 種田明美 ■ 東博子 ■ 福岡佐知子 ■ 山田明 (五十音順、敬称略)
事務局	コミュニティ協働推進課(花田課長、中脇係長、成瀬、大久保、佐藤) 商工観光課島づくり係(西畑)

1. はじめに

課長あいさつ

人まち補助金が9件、島づくり補助金が4件の申請されている。屈託のない意見をお願いする。

2. 委員の委嘱について

宗像市市民協働環境部長中村から大賀委員に委嘱状を交付。

3. 自己紹介

新任の大賀委員からのあいさつ

前任の川野に代わり、今年度から委員として参加させていただく。よろしくお願いいたします。

4. 令和2年度の審議会の全体スケジュールについて

事務局から令和2年度の審議会の全体スケジュールを配布資料に基づき説明。

5. 協議事項

(1) 令和2年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金及び元気な島づくり事業補助金の審査方法等

昨年度からの変更点等について事務局から資料に基づき説明。

《質疑等》

(質疑) 国、県、市、企業、財団からの助成金、委託料等を受けているかどうかはどのように把握しているのか。

(事務局) 団体からの自己申告で確認している。ただ自己申告がない場合でも、調査により他の助成金等を受けていることが判明すれば、交付の決定を取り消すこととする。

(質疑) 昨年度の補助金交付団体の中に宗像市だけでなく、福津市からも補助金を受けていた団体があった。人まち補助金に申請した事業以外でも他の自治体等から補助

金などを受けている場合は、補助金の交付を受けることができない団体に該当するのか。

(回答) 宗像市に申請した事業に関連しないと確認ができれば交付の対象となる。

令和2年度宗像市人づくりでまちづくり事業補助金及び元気な島づくり事業補助金の一次審査結果を配布資料に基づき説明。

(質疑) 宗像フェス CSR 実行委員会と特定非営利活動法人 JAPAN ビーチサッカーネットワークの申請事業は一過性のイベント的な事業に該当するのではないかと。

(回答) 一次審査の結果、委員の半数以上から2次審査に進めるべきという意見を頂いた。2次審査で検討していただきたい。

(意見) 2年目、3年目の申請団体の一部で、申請金額が昨年度から大幅に増額している。また市から事業の委託を受けている団体もあるので、本審議会を担当課の意見を聞きたい。

事務局から資料に基づき、審査の進め方の説明を実施。

《質疑等》

なし。

(2) 補助金申請内容の確認等

○人づくりでまちづくり事業補助金

①CLICK「学校や地域でのプログラミング学習の支援(3-1)」

市関連部署；子ども育成課、教育政策課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

(質疑) 今年は新型コロナウイルスの影響で市立学校が4月と5月休校しており、そのため夏休みが短縮され、当初予定している計画どおりに事業の実施ができない可能性がある。事業計画を見直す必要があるのではないかと。

(事務局) 見直しを含めた今年度の計画については審査会の質疑応答の中で申請団体に確認してもらいたい。

(意見) 他の団体も含め、申請書の内容は新型コロナウイルスの影響を踏まえていない予算や計画となっている。イベントなどが中止になっており、それを踏まえた予算や計画を提出していただきたい。

(質疑) 新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となり、事業が思うようにできない中、本年度から補助金の対象として開始してよいか、団体に確認した方がいいのではないかと。

(事務局) 元気な島補助金については新型コロナウイルスの関係で2件取下げとなっている。

(意見) 審査会からの助言として、団体に申請の取り下げを確認してもいいのではないかと。

(事務局) 今年度は特別な事情のため、団体からの申請の取り下げについては、市としてはやむ得ない事情として柔軟に対応していきたい。取下げをし、今年度、事業を実施しなくても来年度の申請を継続申請として取り扱うこととする。

②ココカイベント企画室「障害・高齢者ココカラはつらつ事業(3-1)」

市関連部署；福祉課、高齢者支援課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

(質疑) ココカイベント企画室は市の都市再生課から補助金を受けた団体か。

(事務局) 市の都市再生課から補助金を交付している CoCokara ひのさととは別団体である。

(質疑) 新型コロナウイルスの影響で、施設利用者をイベントに連れ出すことは困難な状況であるが、団体から計画変更の相談はあったか。

(事務局) 団体から計画変更等の相談はきていない。

③宗像フェス CSR 推進実行委員会「海の環境を守り笑顔をとどけよう！プロジェクト(3-1)」

市関連部署；環境課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

(質疑) 今年度も宗像フェスは実施する予定なのか。

(事務局) 今年度も実施する予定であると聞いている。

(質疑) 昨年度は宗像市だけでなく、福津市から補助金が出ていたが、今年度も福津市が出すならば、不交付対象に該当するのではないか。

(事務局) もし他市から補助金を受けるのであれば事業の採択はできない。

(質疑) 昨年度までは事業の対象が韓国であったが、今年度はスリランカに変更している。理由はあるのか。

(事務局) 変更の理由などについては審査会で確認していただきたい。

(意見) 旅費として、ユリックスから海岸まで大型バス5台とあるが、宗像市民がイベント参加者のメインとなるなら、現地集合でもよいのではないか。また1時間の清掃を実施するのに、音響まで準備する必要があるのだろうか。ペットボトルをリサイクルして絵本をつくることについても、海洋性プラスチックの解決策として疑問がある。

⑦子ども支援ネットワーク With Wind「子どもの居場所ネットワーク事業(3-2)」

市関連部署；子ども育成課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

(担当課) 今回申請している内容は市から委託しているプレーパーク事業とは全く別の事

業である。

(意見) 申請団体は子どもまつりに参加しているのか。

(担当課) 将来的に事務局を申請団体にもお願いすることも考えている。今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、今後事務局の運営については協議を進めていく。

(質疑) 昨年度から補助金額が減少しているが、事業の何が縮小しているのか。

(事務局) 今年度は大島に関する事業がなくなっており、その事業削減分の金額が減少していると考えられる。審査会の際に団体に確認をお願いしたい。

(意見) 今年度は新型コロナウイルスの影響で小中学校が長期間休校した。子どもが活動できる場を設けてもらいたい。

⑨宗像地区成年後見研究会「成年後見制度の啓発・普及と人材の育成(3-3)」

市関連部署；福祉課、高齢者支援課

(担当課) 成年後見制度について、国が成年後見制度の利用促進を進め、市町村は相談機能などの中核機関やネットワークづくりを担うことになっている。宗像市では令和2年度から宗像市保健福祉計画に今後の取組を記述している。本市になじむ形態での地域連携のネットワークづくりの推進、中核機関の機能を当面の間は市が担い令和3年度から取組を開始する。相談機能については、令和元年度までに地域包括支援センターの整備が完了し、住民に対する相談体制が整っている。障害者については社会福祉協議会に委託し、宗像市障害者生活支援センターを設置し、障害者に係る成年後見を含めた相談対応を図っている。

(質疑) 担当課は予算の増額理由や申請内容等を把握しているか。

(担当課) いただいた資料の内容については把握しているが、団体の予算の増額理由や団体の活動の詳細までは把握していない。

(意見) 1、2年目の申請予算と比較して申請3年目となる今年度は、申請のうち報償費と旅費が増額している。審査会で団体に問い合わせたい。

(意見) 市民からの相談は市や社協で受けることが可能であり、民間の団体に相談する必要があるか疑問がある。団体の昨年度の実績では、1年間の相談者数は、10名程度である。民間団体が相談を担う必要があるか確認したい。

(質疑) 宗像市への相談件数はどれくらいか。

(担当課) 平成30年度の実績は、成年後見制度だけでなく、権利擁護の案件も中に含まれるが、高齢者に関する相談が1493件、障害者に関する相談が154件あった。令和元年度は地域包括支援センターの整備により相談件数が増加傾向にある。また弁護士や司法書士などの専門職の方に相談している市民もいる。

(意見) 成年後見の学習の場が設けられることは良いことだと思うが、相談業務まで担うのは難しいのではないか。

(担当課) 福岡家庭裁判所管内では市民成年後見人を直接後見人として採用した事例はないと聞き及んでいる。

④「子ども寺小屋カフェ」を運営する会「子ども寺小屋カフェ」等の事業(3-2)」

市関連部署；子ども育成課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

(意見) 昨年度の予算から原材料費が3倍近く増額となっている。

(意見) 新規事業の家族ダイニング・サンサンを実施する際の費用の増額ではないか。

(意見) 参加費を無料としているが、先々補助金がなくなったときにどうするのか、審査会のと
きに確認したい。

⑤二丁目小学校「二丁目小学校開校(3-2)」

市関連部署；子ども育成課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

(質疑) 今年度に事業が実施できなかった場合、今年度の申請についても補助金交付対象の年数
にカウントするのか。

(事務局) 今年度は、新型コロナウイルスの影響による特別な事情があるため、もし今年度に事
業が実施できず、申請が取下げられた場合は、補助金交付団体に決定したとしても補
助金交付対象の年数にカウントせずに、来年度を2年目として取り扱う。

(意見) 申請額が小さいが、申請手続きの方が大変で、割に合わないのではないか。

(事務局) 市の補助金を活用していただき、他の地域に同様の取組が波及していけばと考える。

⑥宗像ビブリオバトル倶楽部「ビブリオバトルを通じた読書活動推進事業(3-2)」

市関連部署；図書課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

特になし

⑧特定非営利活動法人メイクハッピー&ピース「ピースプロジェクト(3-3)」

市関連部署；福祉課、子ども支援課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

(意見) 事業が行き詰っているように感じる。

(事務局) 本業の事業規模が大きくなっているため人まちの事業が実施できず、活動に余裕が若
干なくなっているのかと感じてはいる。ただ NPO 法人としては、活動は実施してい
る。

(意見) 発達障害のある子どもの放課後の指導や居場所づくりなどしている中で、ハッピーカフ
ェのような親たちが集まる場は重要な場所だと感じる。団体にこの事業の位置づけにつ

いて聞いてみたい。

○元気な島づくり事業補助金

事務局から申請の辞退があった団体の説明を実施。

い 特定非営利活動法人 J A P A N ビーチサッカーネットワーク「大島 ビーチイベント(5-1)」

市関連部署；商工観光課元気な島づくり係、文化スポーツ課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

(質疑) ゴスペルグループの報償費は妥当の金額なのか。算出基準などあるのか。

(事務局) 審査会までに確認する。

(質疑) 団体調書の氏名が伏せられているが、団体メンバーは3名以上確保できているのか。

(事務局) ビーチサッカーネットワークのメンバーは3名以上で、複数いると聞いている。

(質疑) 計画では、一つのイベントのみを計画しており、一過性のイベントに該当しないのか。

(事務局) 令和元年度にビーチサッカーのみを実施した。令和2年度以降も継続して大島で活動していきたいと団体から聞いている。

(質疑) 今後、活動は拡充していくのか。ビーチサッカー以外にも大島や地島で他に活動を行うのか。

(事務局) 将来的には大島でビーチのクリーン活動なども行う予定だと聞いている。

(意見) 申請書の内容について、実現できるのか疑問がある。

(質疑) 島からの要望で開催するのか。団体の意向で開催するのか。

(事務局) 団体が開催を希望し、イベントを通じて大島を活性化させたいと聞いている。

(意見) 大島を活性化させたいとあるが、申請書からはなかなか読み取れない。

(質疑) 大島地区コミュニティ運営協議会に話しはしているのだろうか。

(事務局) 大島地区コミュニティ運営協議会にはまだ話しをしていないようであるが、一部の島民に相談しているとは聞いている。

(質疑) 予算書の委託料は補助金を受ける団体に支払っているのではないか。

(事務局) 審査会までに確認する。

(質疑) トラックで何を運搬するのか。

(事務局) ミニライブ用の機材などと思われる。

(事務局) 審査会に参加できない可能性があるかと団体から連絡がきており、VTR などによるプレゼンで対応できないかと相談がきている。ただ、団体としての申請となるため、代表者以外でもよいので審査会に参加していただくようお願いをしている。

(意見) 新規の団体であり、また今まで審査時には必ずどなたかに審査会に参加していただいており、参加してもらったほうがいいのか。

(事務局) 団体には審査会に参加していただくよう依頼する。

(意見) 審査会の時間変更などの対応は可能なので、審査会に来ていただけるようお願いしたい。資料だけでなく、質疑を行わなければ審査ができない。

え 地島小学校PTA「いきいき地島っ子 活動支援」(5-5)」

市関連部署；商工観光課元気な島づくり係

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

特になし

お おおしまお助け隊「島内環境の保全と維持・管理(5-3)」

市関連部署；商工観光課元気な島づくり係、環境課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

特になし

か 九州共立大学スポーツ学部「九州共立大学（大島プロジェクト）～筑前大島におけるスポーツを通した健康づくり及びコミュニティづくり～(5-3)」

市関連部署；商工観光課元気な島づくり係、文化スポーツ課、健康課、コミュニティ協働推進課

事務局から申請内容について説明

《質疑等》

特になし

6. 令和2年度福岡ブロック社会教育委員研修会について

事務局から資料に基づいて説明

(意見) 文科省からの答申には、今まで社会教育に係わっていない人や市民活動団体、NPO団体も巻き込んでいく旨の記載があり、宗像市がこれまで行ってきた内容である。福津市との打ち合わせでは、宗像らしい取り組みを紹介してほしいと要望があり、宗像市の取組内容を含めて実例を発表するも他の自治体の社会教育委員の役に立つのではないかと思う。参加した人が参加してよかったと思える研修会になればと思う。

7. その他

(意見) 人まち補助金の予算が、平成28年度までは800万円、平成29、30年度は500万円、令和元年度は350万円、令和2年度は200万と推移している。宗像市の活性化のためにグループをつくり、活動してもらっている。今後の宗像市の将来について考えた場合、補助金を減少させていった方がいいのだろうか。

（意見）市民参画審議会から来年度の予算を確保するために要望として出すことも検討してもよいのではないか。

（事務局）補助金のあり方など包括的に考える必要がある。他の市では、補助金の上限を減らして補助率を上げる、対象を広げるなど工夫しており、他市町を参考にしながらマイナーチェンジをおこなっていきたいと考えている。

= 散会 =